

# 高梁川流域 キッズ

たかはしがわりゆういき

高梁川流域の

でんとうてき

ぎょうじ

げいのう

伝統的な行事と芸能

ひがさきおどり(こんこうちょうさがた)

ひがさき踊り(金光町佐方)

新高総早倉矢井  
見梁社島敷掛原  
市市市町市町市

浅口市  
里笠  
庄岡  
町市



かん けい ば しょ  
関係のある場所

す わ じん じゃ  
・諏訪神社



ぎょう じ

この行事について

「ひがさき踊り(金光町佐方)」は、浅口市金光町佐方地区に伝わる踊りで、浅口市無形民俗文化財に指定されています。この踊りは、諏訪神社の夏祭りである8月26日の夜に踊ります。この祭りは「ぼうぶら祭り」といわれ、旧暦7月26日に地区民は、かぼちゃ、なすやこんにやく等の煮物や赤飯を作り、諏訪様に持って行きお供えしました。米や麦などの豊作や流行病の防止や雨乞い等のお祈りの後に、お酒を飲みながら楽しみ踊りました。

はじまりは、室町時代の大永4年(1524年)8月に、長野県の諏訪大社の分霊を金光町佐方宗本に勧請した際に、住民が神様を迎えるためとを祈願して踊ったと伝わっています。

現在の踊りは、地踊りを緩やかな6呼間4回の24拍で踊るのは非常に珍しく、これは踊りが舞かの論争もあったというほどであります。佐方ひがさき踊り保存会は、この由緒ある「ひがさき踊り」を伝承するために神社に奉納したり、催しに参加したりと活動を続けている貴重な民俗芸能であります。